



ねらい	物語を表現していくリズムあそびを通じて、指導者と参加者が仲良くなります。
対象	幼児から小学生まで（大人も可能）
人数	何人でも
時間	15分程度
場所	どこでも
準備	なし

事前準備

- 「楽譜」と「あそび方」を、
ホームページ「楽しいリズムあそび10選」からダウンロードしておきます。（ピアノ伴奏も聞けます）
<http://homepage1.nifty.com/tossdof/land/>

実際の活動

- 指導者の歌に合わせて、指あそび、手あそび、身体表現と発展します。
- 「みどりのもりかげに ひびくうたは だいくのきつつきさん せいだすうた
ホルディヤ ホルディヒヒヤ ホルディククク ホルディヒヒヤ ホルディククク
ホルディヒヒヤ ホルディククク ホルディヒヒヤ ホ」
- 「みどりのもりかげに ひびくうたは だいくのきつつきさん せいだすうた」とみんなで歌います。（1回）
「ホルディヤ」両ひざを両手で何度もトレモロのようにたたきます。
「ホル」 両ひざを両手で1回たたきます。
「ディ」 手拍子を1回打ちます。
「ヒヒヤ」 両手の親指と中指をこすって「パチン」と鳴らします。
「ホル」 両ひざを両手で1回たたきます。
「ディ」 手拍子を1回打ちます。
「クク」 両手の親指と中指をこすって「パチン」と鳴らします。 } ①
①を繰り返します
「ホ」 両ひざを両手で何度もトレモロのようにたたきます。
- 一度歌い終わるたびに、次のような指導者の語りを加えていきます。
 - ① 「仕事をしていたきつつきさんの前を、誰かが“サーッ”と通り過ぎました」
※ 「ホルディヤ」からひざをたたきながら歌い、「ホルディククク」の後に、「サーッ」と言いながら、両手を顔の前で、右から左に1回ふります。
 - ② 「きつつきさんは「ハッ」と驚きました」
※ 「ホルディヤ」からひざをたたきながら歌い、「ホルディククク」の後に、「サーッ」「ハッ」と入れながら、両手を広げ、驚いた様子の表現を加えます。
 - ③ 「でも、通りすぎたのがリスさんだとわかって、“ホッ”としました」
※ 「ホルディヤ」からひざをたたきながら歌い、「ホルディククク」の後に、「サーッ」「ハッ」「ホッ」と言いながら、両手で胸を押さえ「ホッ」とした表現を加えます。
 - ④ 「でも、きつつきさんは、ちゃめつけを出して、りすさんに“べー”をしました」
- このように動作をどんどん増やしていきます。（10番まであります）

留意点

- 5番以降は、上記ホームページをご覧ください。

